

「にこにこふんわり ふれあい遊び」

講師：佐賀女子短期大学 准教授 山田 久三江 先生

かわり番っこに本を読み、互いの声を聞きましょう。

感想は？

- 一生懸命語りかけるように読んで安心。
- 子どもに合ったつもりで読んで、初めて読んだので「くず」だった。
- 男性の声で読んでもらったのは初めて。
- 自分も手に読んでいたが、女性の声だからとてもききやすい。
- 優しい声かきかした安心感があり、心地よかった。
- 人の声を聴くのはあったかい気がする。
- 優しい感じがして自分も楽しくなれそうでホッとなりました。



今言ったことがお子さんが感じていることです。声を聴いて気持ち(優しい子、好奇心のある子等)が育っている。子どもは毎日、声を聴くことで体験し、体で伝えたり言葉で伝えている。⇒ **日常会話ができるようになる。**



赤ちゃんを抱っこして遊ぼう

「まめ 1こ は～ねた」「びょ～ん」
 「まめ 2こ は～ねた」「びょ～ん」
 「まめ 3こ は～ねた」「びょ～ん」
 「まめを 煎～れた」「高い 高い」

「魚が 跳ねて びょ～ん 頭にくっついた」「帽子」
 「魚が はねて びょ～ん お腹にくっついた」「おへそ」
 「魚が はねて びょ～ん おしりにくっついた」「しっぽ」



子どもは音を聴いている。それで育ちます。声、すべてが安心を育てる。

子どもの呼吸を考えながら、動作してあげる。⇒ **気持ちが安定する。**

親がこうしたいという気持ちではなく、子どもがこうしたいという気持ちを育てる。

日常の子どもの関わりがとても大切



3月6日(日)で「まん延防止等重点措置」が解除されましたが、佐賀県では毎日300～400人前後の新規感染者が確認されている中、人数制限をかけ、先着5組までとしました。

参加者からは「改めて子どもと関わろうと思いました。絵本を読んだり手遊びしたりしようと思いました。」「小さい時期の関わり方はわからないので、ありがたいです。」「家の中でいつも2人で過ごしている中、手遊びや歌を歌うことで、娘の笑顔が見れるのは幸せだなと改めて思いました。早速自宅でもやってみます。」「また、同じように子どもとのふれあい遊びをしてほしいです。とても楽しかったです。」など、とても好評でした。



子育てはシンプル。音楽を通してそれ以前に声かけ、名前を呼んであげる。

子どもたちは、音を聞いている。音の音色が心を安心させる。



フロアにころころは、足を上げてはパターン。上げてはパターン。筋肉と骨が育つ。かわいいから抱っこしてしまう。⇒ **成長を奪ってしまう。**

子どもが自分で何かをする姿がスタートライン。次に、声を出す。それに応えて上げることが大切。⇒ **繰り返すと、子どもの心に安心が膨らむ。**



子育てで聞きたいことは？

- ☆初めての子どもです。今日ここに来て嬉しいこと(パッチワークでほめられた)があった。それを伝えたい。
- ☆同じ歌を歌ってばかりでいいのかなあ?⇒全然大丈夫!!
- ☆二人目でほったらかしにしていることも増えた。家ではゴロンとしている。ただ、応えてあげてないこともあった。
- ☆上二人に手伝ってもらいながらできている。